

2017.5.1

第160号

ながの 社会福祉士会

NEWS

■発行：公益社団法人長野県社会福祉士会
会長：三村 仁志
■編集：広報編集委員会

■事務局：〒380-0836
長野市南県町685-2 長野県食糧会館6F
■発行部数：2,200部

■TEL：026-266-0294
■FAX：026-266-0339
■E-mail：info@nacs.jp
■HP：http://nacs.jp/

目次

■公益社団法人長野県社会福祉士会 次期役員候補者について	■信州ぐるっと	5
..... 1~2	■社会福祉士がおすすめする本	6~7
■抄録の書き方・発表の方法 講座開く!	■リレーエッセイ~リレー形式の寄稿~	8
..... 3	■今後の予定	8
■平成28年度 基礎研修修了者の声	■編集後記	8
..... 4		
■私の地区の学習会		
..... 5		

Nagano Association Certified Social Workers

公益社団法人長野県社会福祉士会 次期役員候補者について

本会の次期役員（理事15人監事2人、任期：平成29年度定時総会～平成31年度定時総会）は、役員選出規則に則り、長野県社会福祉士会選挙管理委員会（委員長：竹内雅智、委員：塩澤宏之、大井千明）が次期役員候補者として確定し、理事会で定時総会に提出の議案を承認しました。

今後は6月10日(土)開催の定時総会で議決を経たうえ、正式に始動することになります。なお、2月に地区総会で選出された役員体制および3月に互選が行われた各種委員会の役員体制は4月から始動しています。

全県選出 理事候補者

菅津 公子 会員（立候補・現副会長）

「社会福祉士」の職域の拡大、弁護士会や他の専門職との連携の強化、認定社会福祉士など上級資格の研修の安定的運営、隣接する他県社会福祉士会との連携、長野大学等の社会福祉士養成校との連携強化等、山積している課題に対し、本会の活動の充実と会員個々のスキルアップやネットワークづくりのために尽力していきたい。

青柳 與昌 会員（立候補・現副会長）

公益社団法人に移行し、より公益の名にふさわしい活動ができるよう会の運営に努めたい。会員数が1,000人を超える中で、会員個々がさまざまな分野で積極的に参加可能な組織の充実と努めていきたい。

また、活動が積極的に展開できるよう財政の安定化という課題にも取り組んでいきたい。

地区担当 理事候補者

杉本 博志 会員（中信地区・支部長）

地区活動においては、「会員一人ひとりが主役」の地区運営を旨とする。地区会員全員が主体性を発揮できる会をめざして、そのための仕組みづくりを進めたい。

社会福祉士の社会的認知を深め、社会福祉士会の活動の裾野を広げる取り組みに注力するとともに、各種学習会等を地区の状況にあわせて柔軟に企画・実施したい。

伊藤 浩志 会員（南信地区・支部長）

会の活動を通して、会員一人ひとりの職場で「さすが社会福祉士会会員だ」という認識が広がることで、会の存在意義が増し、入会率もアップしていくのではないかと考える。そのような流れが、南信3ブロックにおいて創出されるように、支部長として努力したい。

全県選出理事候補者確定の経過

- ①告示：11月1日(火) ホームページおよび一斉メール、広報紙に同封
- ②受付：11月20日(日)～12月19日(月)
- ③確定：12月20日(火) 選挙管理委員会
立候補が定員の3人のため選挙をせずに確定

上條 通夫 会員（立候補・現監事）

公益社団法人として着実に地域に根差した活動を進め、地域の認識も高まってきているところであり、これまでの活動の良いところは発展的に継承していきたい。各地区活動や委員会活動の活発化を図るための問題提起や啓発活動を行い、また、社会福祉士を地域に広く認識していただけるように、本会ならではの活動を推進して地域貢献をしていきたい。

地区選出理事候補者確定の経過は次ページに

岩澤 純 会員（東信地区・支部長）

公益社団法人の地区支部として地域の福祉に貢献できるよう、学習会や交流会を通じて会員内外のネットワークづくりと学び合いの場づくりを推進する。

現場で活躍する社会福祉士に対する入会勧誘に努めて組織率向上を図り、社会福祉士会の活動の活性化を図っていきたい。

長峰 夏樹 会員（北信地区・支部長）

地区内の学習・研修活動、若者部会の活動の活発化を図りたい。介護保険、生活困窮者支援など行政の担当者を巻き込んだ勉強会および提言活動の展開を行いたい。

また、各職能団体の連携による、災害福祉支援の体制強化に取り組んでいきたい。

地区担当理事候補者確定の経過

- ①地区総会：2月18日(土) 中南信地区
2月25日(土) 東北信地区
- ②役員選出：総会では正副支部長・庶務および各種委員を選出
- ③選出報告：選出された支部長が選挙管理委員会に地区担当理事候補者選出報告書を提出
- ④候補確定：4月6日選挙管理委員会で確認確定

委員会担当理事候補者確定の経過

- ①委員選出：2月の地区総会で、委員会設置規則に則り、福祉活動・虐待対応・広報編集・生涯研修センター・ぱあとなあ・定着センターの委員を選出
- ②選出報告：3月に各種委員会を開催して正副委員長等を互選。委員長が選挙管理委員会に委員会担当理事候補者選出報告書を提出
- ③候補確定：4月6日選挙管理委員会で確認確定

委員会担当 理事候補者

佐藤 もも子 会員 (福祉活動委員会・委員長)

委員の皆さんと福祉活動委員会のあり方(地区学習会や政策提言機能等)について基本に立ち返り検討していきたい。

また、各地区で起きている分野別または横断的な福祉課題について集約し、会として取組みが必要な事柄は、他の委員会と連携しプロジェクトとして取組みたい。

宮本 雅透 会員 (虐待対応委員会・委員長)

極めて重大な権利侵害である虐待は、対応を間違うと殺人にも至るなど、緊急かつ適切な介入的支援が求められる。虐待対応は生活全般を捉える広い視点、さまざまな制度等の知識に加え、社会福祉士の持つ高い専門性とスキルが必要となる。会員や行政等を対象とした研修や弁護士会と協働で設置する専門職チームの利用促進等を図りたい。

奥原 和彦 会員 (広報編集委員会・委員長)

会員のみならず、多くの市民の皆様には社会福祉士が認知されるようなわかりやすい広報紙、ホームページ作成を行っていきたい。

さらに地区学習会や研修会など会員の自己研鑽ツールとして活用できるようにしたい。広報編集活動を通じて、会員相互の顔の見える関係づくりに役立てていきたい。

青木 靖志 会員 (生涯研修センター運営委員会・委員長)

社会福祉を取り巻く環境が大きく変化しているなか、社会福祉士に対する信頼や信用をさらに高め、期待される専門職となるためには、自身も含め、資質の向上はとても重要なことと考えている。そのような自己研鑽の場を増やしていけるように努め、社会福祉士の専門性の向上に貢献できるようにしていきたい。

衛藤 史朗 会員 (権利擁護Cぱあとなあ運営委員会・委員長)

障がい者権利条約、成年後見制度利用促進法や障がい者差別解消法など、権利擁護を取り巻く環境が大きく変わろうとしている。意思決定支援や合理的配慮などの要請に対して、ぱあとなあ会員一人一人が自己改革に取り組みなければならない。そしてぱあとなあが求められる職能団体としての機能を充分発揮できるように尽力していきたい。

若林 喜久雄 会員 (定着支援センター運営委員会・委員長)

年々増加傾向にある、地域生活定着支援センターのコーディネート業務やフォローアップ業務等が、可能な限り円滑に進められるよう、社会福祉士会会員や関係機関・団体と連携して、センターの側面的援助を行うとともに、活動を広く理解していただくため、県内の社会福祉関係者の方々への啓発活動を進めていきたい。

外部理事候補者確定の経過

- 役員選出規則第4条3項で社会福祉士以外の学識経験者・外部理事2名を理事会で選出すると規定
- 4月22日開催の理事会で選出

監事候補者確定の経過

- 役員選出規則第4条4項で2名を理事会で選出すると規定
- 4月22日開催の理事会で選出

外部 理事候補者

青木 寛文 氏 (長野県弁護士会)

定着支援センターの受託やリーガルソーシャルワーク委員会の設置等、司法と福祉との連携を適切に実践されている長野県社会福祉士会の日頃の活動に、司法の一翼を担う弁護士として敬意を表します。これらの活動が一層充実するように微力ながらお手伝いしたいと考えております。どうかよろしくお願い申し上げます。

中島 豊 氏 (長野大学)

外部理事として、前期においてどこまでお役に立てたか心もとないところではありますが。

次期においては「福祉まるごと学会」における発表抄録の改善や、本学社会福祉大学院構想の推進など学術的な観点からお役に立てればと考えております。よろしくお願い申し上げます。

監事候補者

弓場 法 氏 (弓場・岡本会計事務所)

監事として、理事の職務の執行状況について、公正な立場から監査を行います。計算書類が一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に従って作成され法人の状況を適正に表示しているか、理事の職務執行が法令定款に従っているか、さらに効率的な職務執行となっているかについて監査していきます。

丸山 克之 会員 (社会福祉法人孝明)

会が発展し事業内容が多岐におよぶようになり、会員としてその事業全般に精通することは難しい状況になってきています。そのことを念頭に置きながら、理事の職務執行状況や会計管理の状況が法令もしくは定款に違反していないか等を公正かつ適切に監査していきたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

平成29年度 福祉まると学会 実践発表に向けた 抄録の書き方・発表の方法 講座開く！

3月25日、長野大学にて、鈴木忠義長野大学准教授（長野県社会福祉士会会員）による講座を開催し、14人が参加しました。この講座は、6月に開催する「福祉まると学会」の実践発表に向け、実践研究のまとめ方や抄録の書き方・発表の仕方を学習することがねらいです。長野県社会福祉士会として初めて開催する講座でしたが、発表予定者以外にも、向学心溢れる会員や会員外の方の参加もありました。

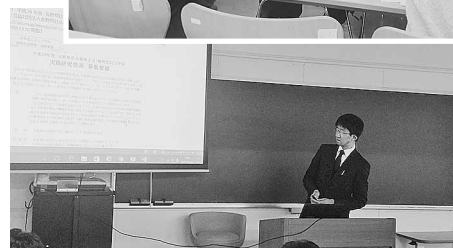
*** 研修の内容 ***

○「実践研究」とは何か

- ・前提：「社会福祉」の立場
- ・「実践研究」とは：「実践の言語化」、「経験値の普遍化」
- ・「実践研究」が求められる理由
 - ①実践的課題への対応、②提供するサービスの質的向上
- ・仮説の構築が必要：演繹法、帰納法
- ・「実践研究」の対象：①「社会福祉士の倫理綱領」とは何か、②方法としての事例研究、③研究の対象となる実践事例とは何か、④実践研究の具体的方法と内容

○抄録の書き方・発表の方法

- ・研究発表の形態・研究発表の構成・研究発表にあたっての留意点



質 疑

Q1. 実践研究の発表において、事例を用いる場合があるが、倫理的配慮としてどの範囲まで改編、加工したらよいか。

A. リアルな形で、できる限り改編、加工したくないが、本人が特定されるような場合には加工が必要。固有名詞や個人を特定されるような場合に行う必要がある。

Q2-1. 先行レビューの活用、モデル理論の活用等、なかなか多岐にわたって理解しているわけではないので、その活用の仕方を教えてほしい。

A. さまざまな学問や自分が拠って立つものや、学んできたことを踏まえて活用すればいい。個人の問題意識等によって拠って立つものも違うと思う。

Q2-2. 先行レビューやモデル理論にアクセスしたり、ヒットさせたりするコツは？

A. 学習会や学会等に参加した時に他者の発表を聞いたり、どんな参考文献を取り上げているのかなどを参考にしたらどうか。人とのつながりの中で資料をもらうことも。

Q3. 本人の側から事例を捉えるとあるが、具体的にとられるための有効策とは？

A. 当事者自身が生活課題をどう捉えているのか、問題を捉えているのかに焦点が当たると思う。手法はさまざまあると思うが、当事者の声を十分に聴く（理解する）といったアプローチが大事。そこから出発していくことが大事ではないか。

講座に参加して

市立大町総合病院
社会福祉士 等々力 久志



抄録に対する書き方や考え方について、学習した経験がなかったため、このような研修に以前より関心があり、参加させていただきました。

研修では「自分の実践をどうまとめて発信するか」をテーマに社会福祉士における「実践研究」の必要性が説明されました。実践研究に取り組むことで、日々の実践を客観的に理解し、課題を整理することにつながる。課題の解決に向き合い、理論的に考察を行う実践の研究は、われわれ社会福祉士が専門職として提供するサービスの向上につながるなどが説明されました。

研究を意識したことはありませんでしたが、実践を研究し考察を深め、それを発信していくという活動は、社会福祉士の専門性を高める取り組みであると感じました。6月10日の学会が楽しみです！ 研修会の開催ありがとうございました。

(福祉まると学会プロジェクト委員 佐藤・青木)

平成28年度 基礎研修修了者の声

～平成28年度は34人が修了しました！～

基礎研修とは？

基礎研修は認定社会福祉士制度で認証された研修です。基礎研修Ⅰ～Ⅲは3年をかけて社会福祉士として必要な知識・技術についてレポートや講義、演習などを通して習得します。(最大6年間の延長可)

修了すると、認定社会福祉士の取得申請に必要な共通専門の必須単位を得ることができ、成年後見人養成研修も受講することもできます。

社会福祉士の基盤や規範を確認できる研修となっています。ぜひお役立てください。



平成28年度 基礎研修修了者の感想

3年間を振り返り我ながら、よくやったなあと思います。私はこの基礎研修を通して、改めて社会福祉士としての自分の価値観＝「軸」を持つことができたと思います。日々の奔走の中、落ち着いてどっしり構えて支援するためにも、また迷った時に何を大切にするかも、このぶれない軸は自分を支えています。そして学びで満足しないように、これからは仕事の中でどう実践していくかが課題ですね。最後にこれだけは・・・一緒に受講したみなさん本当にお疲れ様でした!!

(養護老人ホーム 南箕輪老人ホーム 小池 仁美)

資格を取得して10年以上のペーパー社会福祉士の私は、学び直しのつもりで受講に参加しました。基礎研修Ⅰでは、各分野で活躍している先輩社会福祉士の皆さんの話を聞き、心に喝を入れました。基礎研修Ⅱになると専門性が増して受講を継続できるか不安でしたが、グループの皆さんに助けていただき、乗り越えられました。

基礎研修Ⅲでは、初めての事例検討にも挑戦。苦情対応や新人教育は、現在の職場でも参考になりました。毎回のレポート提出は大変でしたが、福祉現場の皆さんと繋がりを持てたことは、私の財産となりました。やっと「社会福祉士です!」と言えるぞ! 研修に興味のある皆さん! やらなきゃ損です。ぜひぜひ受講してください。

(栗田病院 小出 典子)

受講者
募集中!

平成29年度 基礎研修Ⅰ

日本社会福祉士会の生涯研修制度の研修課程は、基礎課程と専門課程で成り立っています。基礎課程は、基礎研修Ⅰ～Ⅲからなり、社会福祉士として必要な基礎知識を3年間かけ学ぶ研修で、その後の専門研修の受講や認定社会福祉士資格を取得するためには欠かせない研修です。

1年目の「基礎研修Ⅰ」は、社会福祉士が倫理綱領を持つ意味や現場における社会福祉士の役割などについて、1年間かけて自己学習やレポート、集合研修(8月6日、11月18日)により学ぶ研修です。

- | | |
|-------------------------------|--------------------------|
| <input type="checkbox"/> 応募期限 | 6月9日金 (必着) |
| <input type="checkbox"/> 受講料 | 会員：5,000円 非会員：10,000円 |
| <input type="checkbox"/> 応募方法 | 同封様式・2017年度基礎研修Ⅰ受講申込書を提出 |

【平成29年度の基礎研修Ⅱ・Ⅲの日程】

- ◇基礎研修Ⅱ(受講要件:基礎研修Ⅰ修了者) 5月6日～1月6日までの計9日間
- ◇基礎研修Ⅲ(受講要件:基礎研修Ⅱ修了者) 5月6日～2月3日までの計10日間

募集終了

私の地区の学習会

こんな言葉、つかっていませんか？ 「不適切な対応」について考える ～大萱の里の取り組みから～

南信地区上伊那ブロックでは、3月22日(水)に上伊那福祉協会障害者支援施設「大萱の里」の下平誠相談員を講師として、「不適切な対応について考える」をテーマに学習会を行いました。

【大萱の里の取り組み】

「大萱の里虐待防止委員会」を中心に職員アンケートを実施。利用者への対応で気がかりなことについて、一番意見の多かった「声掛け、言葉遣い、口調」に対して、まず「声掛け月間」を設けた。「なに？」ではなく「どうされましたか？」という声掛けを、職員に対して呼びかけた。

その他にも、「気持ちの良い態度月間」や「身だしなみ月間」などを実施。全ての職員に意識改革を投げかけ、虐待を事前に防ぐため、「不適切な対応」について考えるきっかけづくりに取り組んでいる。

これまで不適切な行為や虐待による通報はないが、職員の心の健康を保ち、利用者にとって喜んでいただける支援の心掛けを呼びかけている。

【参加者の意見・感想】

- ・個人の資質としてではなく、支援者間の風通しを良くし、上司や仲間に相談できる環境づくりが大切だと感じた。
- ・感情コントロールがうまくできるようになるストレスマネジメントが必要。
- ・虐待が起こる本当の原因を調べる必要がある。
- ・相手を1人の人として敬う、相手がどう感じるかくみ取る。そのように意識していくことが大事。



信州ぐるっと ～県内の特色ある福祉活動を紹介～

「信州の風土にあった自然と農業の調和は福祉との連携は可能なのか？」

北信地区 嶋川忠正

小布施にある「くりのみ園」の島津園長は社会福祉士で、農業をベースに障がい者と地域社会の「自然循環型農業による新たなセーフティネットづくりの取り組み」を構築して実践しています。

自然循環型農業とは持続可能性を考えた農業のことです。農業に用いられる肥料や農薬、農具などを循環利用するものであって、畜産や農業、家庭などで出る廃棄物を肥料に利用して、農業で出るゴミを循環利用する農業です。簡単に説明すると「鶏」→「鶏糞」→「肥料」→「水田・畑」→「飼料」→「鶏」という仕組みです。

この循環型から得られる鶏から卵、水田や畑からは米や野菜がオーガニックです。この価値を見出してくれる消費者と市場はあります。また地元での地産地消への取り組みは新鮮で安全な食料供給にもなります。欧州では循環型農業が発展しているそうで、低農薬や有機農業は寒冷地で降水量が少ない風土に合うそうです。

信州の特に善光寺平や東信地区などは降水量も少なく循環型農業との相性はよいかもしれません。また農業生産者の多くは、高齢者や後継者不足であって、そこに福祉との連携は前号で取り上げた地域の活性化にもつながるのではないのでしょうか？



北信地区

所属

長野市社会福祉協議会

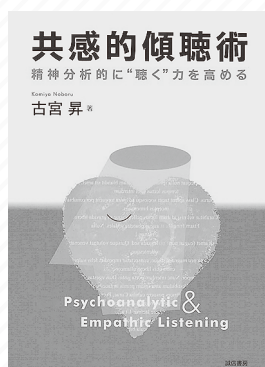
氏名

齋藤 伶耶



《自己紹介》

私は大学卒業後、愛知県の大学病院で医療ソーシャルワーカーとして勤務し、昨年、地元・長野に戻り、現在は長野市社会福祉協議会に勤務し「長野市成年後見支援センター」で相談業務を行っています。



- ◎本の題名 共感的傾聴術：精神分析的に“聴く”力を高める
- ◎著者 古宮 昇
- ◎出版社 誠信書房

《本の紹介》

精神分析理論を主に、面接における傾聴について取り上げられています。理論の解説本ではなく、実際の面接の場面を取り上げ、来談者の意図、支援者の返すべき反応が考察されています。

《推奨する理由》

面接、特に来談者の想いがうまく受け止められていないと感じていた時に、出会った一冊です。会話レベルで「聞く」ではなく、言葉から意図や背景を分析するという面接レベルでの「傾聴」、面接におけるエビデンスについて考えさせられました。日々の面接を改めて見直したい方にお勧めです。

東信地区

所属

上田市社会福祉協議会

氏名

杉浦 剛



《自己紹介》

丸子地区センター地域福祉係に所属し、生活困窮者への生活福祉資金貸付の他、各種相談事業等に従事しています。



- ◎本の題名 厄除け詩集
- ◎著者 井伏 鱒二
- ◎出版社 講談社文芸文庫

《本の紹介》

著者は小説家として大変有名ですが、この詩集は味わいがあり何度読んでも新たな発見があります。「勸酒」は大好きな漢詩の訳で、詩中の一節「人生足別離」は直訳すると「人生に別離はつきもの」ですが、著者は『『サヨナラ』ダケガ人生ダ』と何とも深みのある訳にしています。

《推奨する理由》

背表紙の内容紹介には「闊達自在」とあります。辞書を引くと「心が広く小事にこだわらないさま、思いのままにのびのびしているさま」とのこと。日々様々なご相談を頂くなかで、自分の狭い見識に陥りそうになるとき、この本で「受容」することの大切さを改めて学びます。

専門職が推薦するこの一冊を読みますか？

スキルアップするため、また心豊かにするために、ぜひ手に取って読んでみましょう！！

中信地区

所属

池田町社会福祉協議会
いけだ地域活動支援センター「くわの木」

氏名

荻窪 ひとみ



《自己紹介》

障がいがあっても自分らしさを大切に、住み慣れた地域で自立した日常生活や社会生活を送れるように創作的活動や生産活動、社会との交流の機会を提供しています。



- | | |
|-------|-------------------------------------|
| ◎本の題名 | 跳びはねる思考
会話のできない自閉症の
僕が考えていること |
| ◎著者 | 東田 直樹 |
| ◎出版社 | イースト・プレス |

《本の紹介》

重度の自閉症であり会話をするのが難しい著者がパソコンや文字盤ポインティングによって内面を表出したエッセイです。心に抱える闇や喜び、感じていること等様々な思いが綴られています。

《推奨する理由》

著者の言葉一つひとつに触れることで、物事を自分の価値観ではなく、様々な視点で想像力豊かに考えることの重要性をあらためて感じました。相手の言葉に心を沿わせることができる柔軟さを大切に、心の声に寄り添える支援者でありたいと強く感じる一冊です。

南信地区

所属

グレイスフル下諏訪

氏名

折茂 あや



《自己紹介》

諏訪湖近くのケアハウ

スで生活相談員の仕事をしています。福祉業界に入ってようやく2年経ち、まだまだ右往左往の新米相談員ですが、人生の大先輩である利用者の方々からいろいろ教えていただく毎日です。



- | | |
|-------|-------|
| ◎本の題名 | しゃぼん玉 |
| ◎著者 | 乃南 アサ |
| ◎出版社 | 新潮文庫 |

《本の紹介》

読み切りタイプの単行本です。東京で軽犯罪を繰り返す主人公が、逃亡のすえ九州の山深い集落、椎葉村へ迷い込み、その村人や生活に触れながら次第に改心していくという内容で、発行は2004年ですがこの春映画化された旬の作品です。陸の孤島でありながら、平家由来の雅やかな伝統を守る山村の暮らしの描写も素晴らしいです。

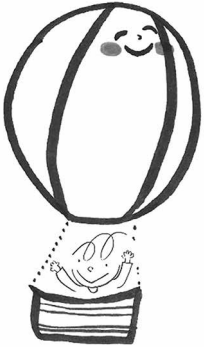
《推奨する理由》

犯行におよぶ青年の背景にある家庭事情、更生していく過程で関わる椎葉村の人々や環境など、作品中には社会福祉的な要素が多く含まれています。また舞台である椎葉村の、素朴でありながら豊かな生活についてもたいへん興味深く、「地域創生」や「田舎暮らし」といった近年の社会的な傾向にも沿う内容で、おすすめの一冊です。

～自分の気持ちをどう相手に伝えていきますか？～

一般社団法人ゆらゆら

ゆらり相談支援センター所長 中村 修



(一社)ゆらゆらシンボルマーク

いつも自分の本心をストレートな言葉で相手に伝えているでしょうか？相手のことを気遣ったり、自分を傷つけないように、遠回しの表現で、本心がばれないようになど、今の自分の立場や状態も考えながら言葉を選択しているのではないのでしょうか。

私は障がいのある方の相談支援を行っています。「働きたい」「自立したい」「嫌い」「行きたくない」などの気持ちをよく聞きます。この気持ちは本心なのか、気遣いなのか、別の意味があるのか、うまく言葉の選択ができていないのか、言わされているのか… 一つの言葉からその背景を考えていくことが求められます。

ご本人に意思を決定する十分な経験や機会が提供されているか、適切に表出されているか…。

「意思決定支援」の視点を持った相談支援をこれからも行っていきたいと思います。

*次号は、信濃医療福祉センター 医療ソーシャルワーカー 長谷川 登 さんにバトンタッチします。

事務局からのお願い

お名前・住所・勤務先等が変更になった会員の皆様へ

お名前・住所・勤務先等に変更がある方は、今回広報紙に同封した変更届の提出をお願いいたします。

また、年度途中に変更が生じた場合も変更届の提出をお願いいたします。変更届を無くしてしまった場合は、日本社会福祉士会ホームページ会員専用ページの「事務手続き関係」ページよりダウンロードできます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

今後の予定

最新の予定は、本会ホームページ (<http://nacsw.jp>) をご覧ください。

日時(曜日)	事業名・研修名	会場	備考
5月6日(土)	基礎研修Ⅱ・Ⅲ(第1回)	松本市浅間温泉文化センター	②6/3 ③7/9 ④8/6
6月3・4日	社会福祉士会全国大会	ビックパレットふくしま	
6月10日(土)	平成29年度福祉まるごと学会	松本大学	
	平成29年度定時総会		
6月28日(水)	高齢者虐待対応研修(第1回)	長野県総合教育センター	②7/3 ③7/20

◎ 入会状況(平成29年3月末現在) * 会員数: 1,077名 入会率: 30.73% 人口10万人あたりの会員数: 51.29名

編集後記

社会福祉士のおすすめする本を、ぜひご一読いただけたらと思います。本を読むことは、一見関係がない知識でも、それを自分の中に蓄えておけば、いつか点と点がつながって役に立ちます。社会福祉士は、常に地域社会のなかでつながる使命を持っているからです。6月には福祉まるごと学会「実践研究発表」を開催します。専門職として長野県社会福祉士会会員が、多くの分野で実践発表をします。今年は松本大学で開催されます。多くの皆様とつながることを期待してお待ちしております。

(K.O)